

2018年4月13日

一般社団法人 全国地方銀行協会  
会長 佐久間 英利 殿

全国金融労働組合連合会  
中央執行委員長 中島 康隆

## 要 請 書

貴職のご活躍に敬意を表しますとともに、日頃のご協力に感謝申し上げます。

金融労連は、1月27日～28日の2日間、第12回中央委員会を仙台市内で開催し、2018年度の春闘方針等を「生計費原則にもとづく賃金の大幅引き上げと格差の是正」「非正規労働者の雇用確保・労働条件改善と組織化」「パワハラをはじめ、全てのハラスメントの根絶」「奨学金返済負担の軽減」「労働時間の短縮」の5項目を重点課題として決定し、すべての労働者の賃上げと雇用の確保で内需主導の景気回復を実現しようと、今春闘に取り組んでいます。

労働者の生活と権利を守り、明るく働きやすい金融機関の職場の実現、また地域金融機関が健全で民主的に発展することをめざす立場から、貴協会に以下のとおり要請しますので、周知・啓蒙していただけますようお願いいたします。

### 記

1. 人口減少と地域経済の疲弊にともない金融庁が「持続可能なビジネスモデル」の構築を各金融機関に求めて数年になります。以降、各行で努力され協会としてもその支援を進めてこられました。しかし、県をまたぐ統合などが拡大しているのが現状です。（地盤色を薄める）再編について協会としての考えをお聞きしたいと考えます。
2. 若年層の働き方への考え方は多様性に富んでおり、今後も離職が進むことが予想されます。一方、政府が進めようとする働き方改革はこれまでの金融業界に染み付いた慣習や文化から、より長時間労働を助長する懸念が強いと考えます。業界団体として、人材確保と育成についてどのように考え、取り組まれているのかお伺いしたい。
3. 4月から施行された非正規無期転換制度を鑑み、「期間の定めのない」無期雇用契約への転換など非正規労働者の雇用安定を図ることはもとより、正規雇用者との合理性のない差別の解消を図るよう指導すること。
4. 12月30日の休日化に向けて関係当局に働きかけること。

以 上